

「南丹市の子どもありきの教育」の実現に向けて

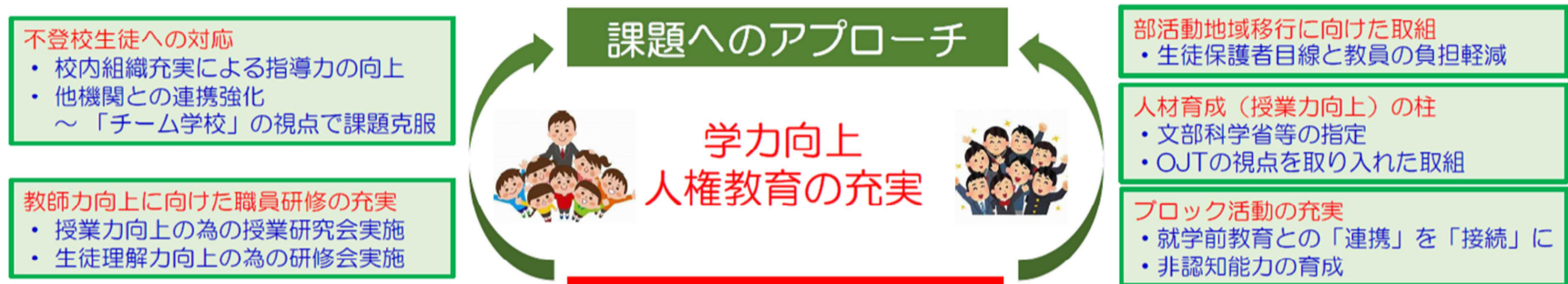
南丹市教育委員会 教育長 國府 常芳

この度、令和5年4月1日付けで南丹市教育委員会教育長を拝命しました國府常芳でございます。

私は京都府の中学校現場で36年間勤め、そのうち南丹市の中学校では26年間勤めてまいりました。私の教育理念は、「児童・生徒は、産まれる場所も環境も選べない。だからこそ、全ての人に保障されている義務教育で可能性を伸ばし、夢と希望を持って進路が実現できる教育を行う」です。この教育理念をもとに人権教育を基盤として非認知能力を育み、「生徒に寄り添う学力向上システム」の構築を目指して「生きる力」を育む教育を推進してまいりました。

教育長就任にあたり、私の目指す南丹市の教育「南丹市の子どもありきの教育」を実現したいと考えております。これまでの経験を活かして、生涯にわたって学び続ける力の育成やふるさと南丹市を愛する心の醸成、これからの社会を生き抜く力の育成と繋がり構築という3つの柱を基に南丹市の教育行政の推進に取り組んでまいります。児童生徒を指導する教員の「教師力向上」と「学校の組織力向上」を両輪とし、南丹市の教育の強みを活かして諸課題に取り組んでまいりたいと考えておりますので、なにとぞご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

子どもありきの教育を実現～全ての子どもの可能性を伸ばし進路を実現する教育を～



南丹市教育の強み

GIGAスクール構想の早期実現と環境整備

- 校内LANの整備
- タブレット端末を活用した授業実践

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を早期に導入

- 「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」を実現する教育実践

社会の変化や要望に対応した教育環境の充実

- 中学校給食の早期実施
- 放課後児童クラブの施設整備
- 適応指導教室「さくら」の開設
- ～「個別最適な学び」の実現

ブロック活動の充実

- ～園部・八木・殿田・美山～
- 縦の連携による教育の充実
- 生徒理解・非認知能力の育成

主体的・対話的で深い学びを実現する授業研究

- 学習指導要領の目的「どのように学ぶか」を実現する教育実践

共同学校事務室の早期設置

- 学校事務の効率化
- 人材育成

学校図書館を拠点に『ことばの力育成』～H24から「ことばの力育成支援員」が南丹市内全小中学校に配置

◇各幼稚園・小学校・中学校における特色ある取り組み◇

園部幼稚園



豊かな自然に触れながら・・・

4・5歳児がペアになって横田公園へ出かけました。車を通る時には「あぶないよ」と優しく声をかける5歳児や、お兄さん・お姉さん達に親しみをもって「一緒に遊ぼう!」と誘い掛ける4歳児の姿がありました。

異年齢の交流を通して、人とかがわる心地よさや思いやりの気持ちを育みたいと考えています。

また、公園では一緒に蝶々を追いかけたり、鬼ごっこをしたりして存分に身体を動かして遊びました。

子ども達がものや人など、様々な環境と出会う中で、好奇心や探究心を育む取り組みを進めています。

八木中央幼稚園



絵本は心の栄養!～ゆったりと浸れる空間を～

本園では、玄関を入ってすぐのスペースに、地域の方からいただいた手作りの椅子と、気軽に手に取れる絵本を数冊置いています。子ども同士で絵本のページをめくりながら絵に合ったオリジナルストーリーを作ったり、先生と子どもたちが休憩をしながらほっこりと絵本に触れたり、絵本の楽しさを味わうことが出来る空間となっています。

また、毎週の絵本貸出日には、保護者ボランティアの方とのふれあいや、自分の興味のある絵本を借りて家庭で親子読書を楽しむなど、幼児期に絵本との出会いが広がるような取り組みを進めています。

園部小学校



学び続ける教職員集団へ

本校では、「算数科」を中心として授業研究を行い、「子どもが楽しい!教師も楽しい!算数科～学習意欲を高める授業づくりを目指して～」をテーマに日々取り組んでいます。

私たちが大切にしていることは、子どもに教える教師自身が「主体的・対話的で深い学び」を実践することです。

そのため、外部から講師を招聘して学ぶことはもちろん、教員同士で議論したり、教員が講師となって研修を行ったりする時間を大切にしています。

子どもたちのために、園小教職員全員が学び続ける集団となり、さらに授業力を高めていきます!!

園部第二小学校



「ありがとうの花」にメッセージを込め、地域の方にお送りしました

校区には、職業上の専門的な知識や生活の知恵を持った方などの人的資源と、有形無形の伝統文化をはじめとする地域資源が豊かに存在しています。

また、6年生児童による和太鼓の取り組みは本校特色の一つとなっています。さらに、地域の方からいただいたビオラの花を育て、地域にお配りすることで日々の感謝の気持ちを伝える「ありがとうの花」は、地域の方々と絆を深める取り組みとなっています。

今後も地域に存在する教育資源を活かし、新たな地域学校協働活動を創り出すことを通じて、将来の地域を支える「その二つ子」の育成を目指してまいります。

八木西小学校



子どもも 大人も 八木西 大好き!!!

「八木西 大好き!」これは八木西小学校の学校運営協議会で決めた育てたい子ども像であり、育ちたい大人像を想った言葉です。この合い言葉は今年度のPTAの目標にも採用され、目標に向かって、地域の方と共にお米作りやあいさつ運動など、地域を学び舎にした体験活動に取り組んでいます。

4月には、地域の方やPTAや学校運営協議会などと一緒に、1年生歓迎遠足かねた全校城山登山に取り組みました。声をかけ合い、手を取り合いながら取り組んだことで、地域と学校の距離がより近くなりました。

子どもも大人も地域を愛してやまない「八木西 大好き!」の気持ちを育んでいきます。

八木東小学校



「ハイタッチ運動」によって、目と目を合わせながらあいさつを交わすことができています。

本校では、今年度も「自分も人も大切に人権教育」を全教育活動の柱とし、主体的な児童の育成を目指して、学校生活はもちろん授業や特別活動の中で、『人が喜ぶこと』『めんどろなこと』『新しい取り組み』『自分の気持ちを伝える』を『進んで』しよう!と取り組んでいます。

さっそく児童会では本部役員の提案により、あいさつを増やすための「ハイタッチあいさつ運動」が3年ぶりに再開され、「ありがとう」の言葉を増やすための「グリーンリボン運動」もスタートしました。

殿田小学校



「全校ハイキング」の様子

殿田小学校では、毎年、自分たちの地域を知り、親しみを持つことや、異年齢集団班で交流する機会の1つとして、全校児童で校区を巡る「全校ハイキング」の行事を実施しています。

今年度は、旧五ヶ荘小学校周辺に出かけました。当日は幾つかの班に分かれ、神社やお寺などを散策したり、地域の方からお話を聞いたりして、子ども達は、地域の魅力に触れることができました。

今年も各学年が地域をキャンパスとして「ふるさと学習」に取り組み、学んだことを発信していきます。

胡麻郷小学校



『初めての田植えを地域の方々で行う4年生』

本校では、4年生になると、総合的な学習の時間にお米作りについて学びます。日頃から、給食でお米を食べたり、田んぼの横道を通って登下校している子ども達ですが、田植え、収穫作業等のお米に関することについて詳しくは知りません。そんな子ども達に地域で米作り体験をしてもらい、ふるさとを愛し続ける大人になってほしいという地域の方の願いとご好意により、田んぼをお借りして今年度も田植え体験をさせていただきました。

昔ながらの手植えをすることで、協力することの大切さや機械の便利さを実感しました。秋の収穫が楽しみです。

美山小学校



旬間に先立ち開かれた人権集会

美山小学校では、毎年6月と12月に校内人権旬間の取り組みを進めています。

今年度は、「ええやん〜大丈夫、やってみよう!〜」を全校のスローガンにして、自分の好きなことや得意なこと、良いところを知り、自分自身を認めることや、友達のことを知って、違いを認め合える心を育てるとともに、失敗しても大丈夫、やってみようという気持ちを育てていきたいと考えています。

各学級ごとに自分たちで目標を話し合い、その目標達成に向けて取り組んでいます。

園部中学校



玄関に LGBTQ+ の理解を深めるための絵図や関連書籍を置いて関心・理解を促しています。

本校では、毎年「命の学習」と題して、命の尊さや人権の大切さをテーマにした学習機会を設けています。本年度は、「LGBTQ+」について学びました。

トランスジェンダーとして様々な苦悩や困難を乗り越え、力強く人生を歩んでおられる方の講演を聴きました。

性的マイノリティと呼ばれる少数派の方への理解を深めることが、「誰もが尊重される社会の実現」に近づけることを知りました。

一人一人が大切にされ、お互いの人権尊重と幸せを願う心を、今後も大切に育てたいと考えています。

八木中学校



八木中ひろば (赤ちゃんひろば) の取り組み

八木中学校では、今年度から、月1回本校多目的ルームを開放し、NPO法人グロアアップが主催されている「ぼこぼこらぶ八木ひろば」(地域にお住いの子育て中のご家族の方が、赤ちゃんと一緒に遊んだり、互いに交流したりする場)を、『八木中ひろば』として開催しています。

本校生徒が『八木中ひろば』を訪れるのは休み時間内のみですが、赤ちゃんの持つ柔らかく優しい雰囲気の中で、赤ちゃんやご家族の方と直接交流することを通して、子育てに興味を持ったり、命の大切さを改めて実感したりする貴重な機会となっています。

殿田中学校



【授業参観の様子】

5月13日(土)に開催した授業参観・PTA総会には、多くの保護者の皆様に来校いただきました。

学校教育への関心の高さと、ともに生徒たちの成長のために力を出し合っているという温かさを感じました。また、母校のためならひと肌脱ぎという卒業生達の存在も心強いです。

殿田中学校は学校運営協議会の皆様をはじめ、このように多くの方々と共に力を出し合っている生徒たちを育てています。

地域の誇りとなる学校づくりに向け、今年も頑張ります。

美山中学校



南丹・船井陸上大会の様子

本校生徒は、大多数が小学校時からバスで通学しているため、体力面での課題が見られます。

本校では、南丹・船井陸上大会に全校で練習に取り組み出場することで、自身や仲間の体力の現状を知り、運動のみならず様々なことに、より高い目標を持ってチャレンジする姿勢や自己肯定感を培っています。

先日実施された同大会では総合2位になり、互いの頑張りを讃え合う爽やかな1日を過ごしました。

練習や大会当日の取り組みを通して、集団づくりの一翼も担っています。

桜が丘中学校



「教育・福祉・地域」の協働をより強く発展的なものに

本校では、毎年6月6日の「淇陽学校創立記念日」に式典が行われます。本年度は創立110周年という節目の年でもありコロナ以前の形で実施されました。午前には講話を聴き、お昼には本校生徒・教職員・淇陽学校職員・あすなろ会員様合同での昼食会も催されました。

この日の活動以外にも、「あいさつ運動」や「花いっぱい運動」等、学校運営協議会の皆様方と共に教育・福祉・地域の結びつき連携・協働をさらに強固なものにしていく中で、より良い形を模索しながら「信頼できる大人との出会い」を合い言葉に共に魅力ある学校づくりを進めていきたいと考えています。